

四谷地区大臣賞受賞

農林水産省が主催する平成15年度農村アメニティ・コンクールに「幽玄なる石仏群と美しき棚田の山里」をスローガンに四谷地区が県知事から推薦され、農林水産大臣賞候補3件に選考されました。(既報)

大臣賞候補3件については現地調査が行われ、その結果最優秀賞が選考されます。四谷地区の現地調査は下記審査員及び関係者により10月28・29日に行われました。

審査員

加倉井 弘 農政ジャーナリスト・元NHK解説委員
片桐 久雄 (財)農政調査委員会理事・事務局長
河合 進 全国農村アメニティ協議会代表・群馬県新治村助役
武内 和彦 東京大学大学院教授
沼田 早苗 写真家
浜 美枝 女優・農政ジャーナリスト
宮口 侗迪 早稲田大学教授

関係機関(同行者)

農林水産省農村振興局農村政策課企画班企画第2係長
(財)農村開発企画委員会研究員
東海農政局農村計画部長他3名
愛知県農林水産部技官他3名
愛知県新城設楽農林水産事務所農政課長他3名

対応

鳳来町長
産業観光課長他2名
四谷区長
鞍掛山麓千枚田保存会
連谷小学校校長・教頭
連谷老人クラブ会長
千枚田売店の会
田吾作の会
はねこみ保存会(身平橋)



座談会(29日・連谷小学校体育館)

現地調査(28日)

1. 四谷千枚田の自然、歴史的経緯、現状等の説明
2. お聖様、阿弥陀如来座像等の説明
3. 仏坂の石仏の説明
4. 懇親会

千枚田売店の会の女性達が郷土料理(へボ飯、松茸飯、五平餅、アマゴの塩焼き等)で接待。

身平橋組若衆による伝承行事「はね込み」を披露。

現地調査(29日)

1. 座談会 地区の概要、保存会、老人会、千枚田売店、田吾作の活動状況説明
2. かしやげ峠等視察
3. ふれあい広場にて交流会

田吾作が千枚田で収穫した水稻「鈴原」で餅をつき、交流会において出席者全員で食味を行った。

四谷の

千枚田だより

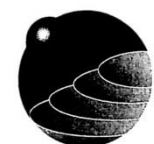
第3号

千こふ
枚こきの い
田からの し
からとう ぶ
始ま みる み
静風

瀬冬千
音ざ枝
はれの
ひにの
びく 田
く 変の
わる 石
る 垣
この
しと
ずなく
子

マスコットキャラクター

愛地球博
Exposition of Global Harmony



棚田サミット
2005鳳来町
四谷千枚田

連谷小学校と千枚田

連谷小学校は児童数十七名の小さな学校です。

児童達は、四谷千枚田を教材に、総合的な学習の時間として「くらかけタイム」を実施しています。

『千枚田を開こう』における「米づくり」の活動については、①田起(1/16)②田植(5/16)③稲刈り(9/25)④脱穀(10/16)⑤ふれあい教室(11/29 予定)など、年間十数時間全校で取り組んでいます。

毎年、収穫祭には「ふれあい教室」として独居高齢者、老人会、父兄等地域の方達に手書きの招待状を送り、児童達が千枚田で作った水稲で招待者とともに餅つきを行っています。

連谷小学校では、千枚田を学習の場として自然や社会を生かし、世代を超えた地域活動をしています。

また、ホームページを作成し、広く、情報の受発信も行っています。

環境整備

稲刈り、脱穀と秋の収穫もほぼ終わった十月二十六日(日)、千枚田保存会十八名により、「ふれあい広場」の環境整備(草刈り等)を行いました。

おかげで、草ぼうぼうの広場もきれいになり、都会から訪れた人達にも、すっきりとした気持ちを与えることができました。

大変、ご苦勞様でした。

鞍掛山麓四谷千枚田保存会の法被

四谷千枚田に係した様々な行事に着用する法被について、その経緯についてお知らせします。

全国棚田(棚田)サミットは大規模なイベントで、そ

のため、大勢の方たちの協力を必要とします。

このことから、法被のデザイン等も専門業者に外注するのでなく、町民全員が協力者、スタッフとしてサミットに取り組んでいただくことを念願に町文化協会にお願したところ、快くお受けいただき、立派な法被ができました。

背面の絵柄は絵画の内藤廣男さん(山吉田)、襟の文字は書道の鈴木常三さん(能登瀬)の作品から生まれたものです。

千枚田を耕す会「田吾作」からのお知らせ

平成十五年十二月十四日午前九時から千枚田餅つき大会を行います。

鞍掛山の清らかな湧き水と、有機・無農薬の棚田で育てたこだわりの餅米「鈴原」でつく餅は、食味・安

全性共に自信を持っており
ます。

ご希望の方には、その場でつきあげる「のし餅」の注文をお受けします。

連絡先 丸地光世

TEL 0536-35-0455

当日は、つきたて餅、猪鍋等を無料奉仕いたします

トビックス

三河の被害で県鳥獣

削減案公開

県民の意見募る

三河地方でイノシシとニホンザルによる被害が増えている問題で、県自然環境課は個体数を削減させる特定鳥獣保護管理計画案を公開している。

対象は岡崎、豊川、豊田、新城市など二十市町村。イノシシは三千四百―七千頭、ニホンザルは千―千三百匹が生息しているとみている。

この計画案について県民の意見を十七日まで募集し、年度内に正式な計画として策定する方針。

〔「中日新聞」H15.11.11〕



湧き水

▽女優 浜美枝さんが千枚田へ訪れた。懇親会では母ちゃん達が精魂かけて作ったへボ飯を喜んで食べてくれた。そして母ちゃん達と一緒に記念写真まで撮ってくれた。

写真を見たら、皆んな「まあまあ」の写真写りだった。あぁ☆☆*#% (舜)

発行 平成十五年十一月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会